

文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島ー22	種類	ツバキ林（久賀島）
名称	長浜のツバキ林		
住所	五島市田ノ浦町 32 番地口、32 番地 2		
所有者・管理者等	土地：五島市 立木：大開町内会		
概要	<p>五島列島はヤブツバキの自生が多く、その中心が久賀島である。</p> <p>このツバキ林は、久賀島の東海岸長浜（字黒河原）にあり、島の代表的なツバキ林である。大木は少なくおおむね幹周り 30～50cm 程度のもが多く、大木が少ないのは表土が浅く、砂礫が多い地質のためであろう。</p> <p>五島を代表するツバキ原始林であり、長崎県の天然記念物に指定され、保護が図られている。</p>		
本質的価値との関係	久賀島の生業の特徴を示すツバキ林である。（原始林）		
構成要素内の重要な要素	林内の作業道、遊歩道		
文化財等の指定状況（行為規制の状況）	重要文化的景観「五島市久賀島の文化的景観」景観構成要素 県指定天然記念物「久賀島のツバキ原始林」		
現状写真			



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島ー23	種類	ツバキ林 (久賀島)
名称	亀河原のツバキ林		
住所	五島市田ノ浦町 657 番地、658 番地第 1、658 番地第 2		
所有者・管理者等	土地：五島市 立木：猪之木町内会、五島市		
概要	<p>五島列島はヤブツバキの自生が多く、その中心が久賀島である。このツバキ林は、久賀島の西海岸亀河原にあり、長浜のツバキ林と同様、島の代表的なツバキ林である。冬場の強烈な北西風が吹き付ける厳しい自然環境下のもと、他の樹木より優位に立つヤブツバキが自生し、それを人為的に保護・育成してきた。</p>		
本質的価値との関係	久賀島の生業の特徴を示すツバキ林である。(二次林)		
構成要素内の重要な要素	林内の作業道、遊歩道		
文化財等の指定状況 (行為規制の状況)	重要文化的景観「五島市久賀島の文化的景観」景観構成要素		

現状写真





文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島—27	種類	海域（久賀島）
名称	久賀湾及び周辺海域		
住所	五島市		
所有者・管理者等	国、県、市（一般海域、漁港区域）		
概要	<p>久賀湾は、久賀島の中央部に南に湾入する湾である。湾中央部の水深は 18m の平坦地となっているが、弁天島東の水深 21m にある凹地は北に延び、深さを増して 25m と海溝状となる。しかし、湾口部では水深 14m と浅くなる。湾周囲においては、塩性湿地が所在する。</p> <p>周辺海域は、西側沖合に対馬海流が流れており、特に冬期の強い季節風と激しい潮流により島の西側は山腹が海岸まで迫り、海食崖が発達し海食洞もみられる。一方、島東側の海域は風裏にあたり、定期船などの航路として利用されている。</p>		
本質的価値との関係	久賀湾は、久賀島の各集落の景観特性と空間機能的特性に大きく影響を与えてきた。周辺海域のうち、東側海域(奈留瀬戸)は奈留島との関連性を示す景観構成要素と位置付けられる。		
構成要素内の重要な要素	久賀湾沿岸の塩性湿地		
文化財等の指定状況（行為規制の状況）			
現状写真			

文化的景観の重要な景観構成要素

番号	奈留島—17	種類	海域（奈留島）
名称	大串湾		
住所	五島市		
所有者・管理者等	国、県、市（一般海域、漁港区域）		
概要	<p>大串湾は、奈留島の北西部に入り込む湾であり、南に向いて湾口を広げる。</p> <p>近世末期より、大串湾に回遊するキビナゴの地引網漁が始まり、明治後期以降盛んにおこなわれ、大串・江上地区の生業の場として利用されてきた。</p> <p>大串・江上地区の生業を考えるうえで重要な要素である。</p>		
本質的価値との関係	大串集落、江上集落の生活・生業に欠かせない重要な景観構成要素である。		
構成要素内の重要な要素	ロクロ場跡（キビナゴ地曳網漁跡）		
文化財等の指定状況（行為規制の状況）			

現状写真



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	奈留島—18	種類	海域
名称	奈留瀬戸		
住所	五島市		
所有者・管理者等	国、県、市（一般海域）		
概要	奈留瀬戸は久賀島と奈留島に挟まれた海域で、海域幅が狭いために潮の干満によって生じる激しい潮流がみられる。 この奈留瀬戸を挟んで、久賀島東部と奈留島西部の歴史的、生活・生業的なつながりは深い。		
本質的価値との関係	瀬戸を挟んだ久賀島と奈留島の文化的景観において、奈留瀬戸と久賀島周辺海域は両島を結ぶ重要な景観構成要素である。		
構成要素内の重要な要素			
文化財等の指定状況（行為規制の状況）			


現状写真



文化的景観の重要な景観構成要素


番号	奈留島—19	種類	池・湖沼
名称	池塚池		
住所	五島市奈留町大串浦字池塚503-1		
所有者・管理者等	五島市		
概要	<p>池塚池は、大串湾の西側の皷ノ浦海岸近くに所在するラグーン（潟湖（せきこ））である。</p> <p>ラグーンは、湾が砂州によって外海から隔てられ湖沼化したもので、砂州の成長段階によって、完全に外海から隔てられたものと、ごく狭い水道により外海とつながっているものがある。多くの場合、ラグーンは塩湖であり、池塚池も同様であり、池岸にはハマジンチョウなどの塩生植物が生息する。</p> <p>多くは、その後の開拓で水田畑地、宅地へと変遷していったが、池塚池と奈留島北東部に所在する汐池は往時のラグーンの姿をよくとどめている。</p>		
本質的価値との関係	奈留島では、このようなラグーンが随所にみられ、奈留島の自然的景観の重要な要素と位置付けられる。		
構成要素内の重要な要素	池塚観音、池周辺の塩性植物		
文化財等の指定状況（行為規制の状況）			
現状写真			

文化的景観の重要な景観構成要素

番号	奈留島—20	種類	植物
名称	江上天主堂前のタブノキ		
住所	五島市奈留町大串 1131		
所有者・管理者等	宗教法人		
概要	<p>タブノキは、西日本の海岸近くによく自生する常緑高木であり、照葉樹林の代表的樹種のひとつである。</p> <p>申出予定区域でも群生が確認され、特に江上天主堂前に自生するタブノキは、根元の日通りで800mmを超える大木が自生している。タブノキの群生は下五島の海岸域に幅広く見られるが、人間の活動域と重なる形でこれだけ大規模なタブノキ群が残存している例は他にはない。</p> <p>天主堂前のタブノキ群は、天主堂建設以前から存在した樹木を意図的に残したものであり、その理由は冬期に卓越する北西からの季節風を防ぐことなどが考えられる。</p>		
本質的価値との関係	奈留島における照葉樹林（タブノキ）利用の典型的な事例。		
構成要素内の重要な要素	天主堂前のタブノキ8本。		
文化財等の指定状況（行為規制の状況）	重要文化財(江上天主堂)の指定地内。		
現在の管理状況	宗教法人が管理。		
現状写真			

文化的景観の重要な景観構成要素



番号	奈留島—21	種類	植物
名称	鰈ノ浦のハマジンチョウ群落		
住所	五島市奈留町大串浦字池塚503-1		
所有者・管理者等	五島市		
概要	<p>ハマジンチョウは、インドシナ半島から中国南部、台湾を経て南西諸島、鹿児島県及び長崎県地方にまで北上分布する南方系の植物である。その生態は、海岸近くの砂礫地に生息し、多くは満潮時に根部や枝の一部が海水に浸る場所である。</p> <p>大串湾の西側に面した鰈の浦海岸にラグーンである池塚池が所在するが、この池の東から南の岸辺に沿って、幅7m~10m、長さ約80mに及んでの群生が見られる。</p> <p>五島列島では各地でハマジンチョウの群生が確認できるが、いずれも海岸であり、ラグーンの岸辺に群生するのはここだけである。付近一帯には、ヒトモモススキ、ハマボウなどの塩湿地性植物の自生も見られ、自然度が高い。</p>		
本質的価値との関係	奈留島の植生、気候風土を示す植物である。		
構成要素内の重要な要素			
文化財等の指定状況（行為規制の状況）	長崎県指定天然記念物		
現状写真			

文化的景観の重要な景観構成要素



番号	奈留島—22	種類	地質鉱物
名称	池塚のビーチロック		
住所	五島市奈留町大串皷ノ浦		
所有者・管理者等	五島市		
概要	<p>ビーチロックは、石灰質や鉄分などの物質により、海浜の砂礫が固められてできた地質現象である。</p> <p>奈留島においては、北西部に位置する皷ノ浦(池塚)の海岸に確認でき、ビーチロックは一般的にサンゴ礁のある砂浜が所在する熱帯～亜熱帯地方に多く見られることから、当該地は北限に近い。</p> <p>池塚のビーチロックは、潮間帯にあり、径10cm前後の礫を含む砂礫から構成されており、堆積の厚さは1m前後である。現在でも成長、後退を続けているが、以前に砂礫の中から縄文前期の曾畑(そばた)式土器が検出されたとの報告があることから、生成年代はおよそ6,000年前以降であると推定されている。</p>		
本質的価値との関係	奈留島の地形的特徴及び気候風土を示す景観構成要素である。		
構成要素内の重要な要素			
文化財等の指定状況(行為規制の状況)	市指定天然記念物「池塚のビーチロック」		
現状写真			